

【別紙様式3】

再 評 価 実 施 事 業 調 書

番 号	12	事業名	木更津市公共下水道事業		路線又は箇所名等		木更津処理区		
事業所管課		千葉県県土整備部下水道課			事業主体		木更津市		
事業化年度	昭和48年	用地着手年度	昭和52年		工事着手年度	昭和48年	再評価の理由	再評価実施後一定期間を経過したため	
				工事終了年度	平成50年				
費用便益比 B/C	1.3 (1.7)	総費用	2,109億円 (1,586億円)	総便益	2,672 億円	基準年	平成20年	供用開始 年 度	昭和59年

【事業概要】

項目	全体計画(目標年次:H29)	事業計画(完成予定年次:H23)	現況(H20)
処理区域面積	5,485ha	2,455ha	1,638ha
処理人口	128,000人	75,300人	44,660人
木更津下水処理場の処理能力	90,200m ³ /日	57,000m ³ /日	43,050m ³ /日
事業費	1,901億円	864億円	551億円

【事業の進捗状況】

指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度までの整備面積は、事業計画2,455haに対して、1,638haを整備し、整備率は67%である。
処理場用地の取得状況	全用地を取得済である。
処理施設の供用状況	事業計画の処理能力57,000m ³ /日に対し、43,050m ³ /日を整備し、整備率は76%である。
供用開始区域の接続状況	接続率88%である。
地元情勢等	木更津市議会の理解及び地元住民の協力は得られている。

【社会経済情勢等】

指 標	状 況
社会経済情勢	金田地区土地区画整理事業の事業化や圏央道の一部供用開始がされているものの、既に計画に見込んでいるため、下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特でない。
自然環境条件	東京湾の水質汚濁に係わる水質環境基準に変更はない。
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。

【コスト縮減・代替案】

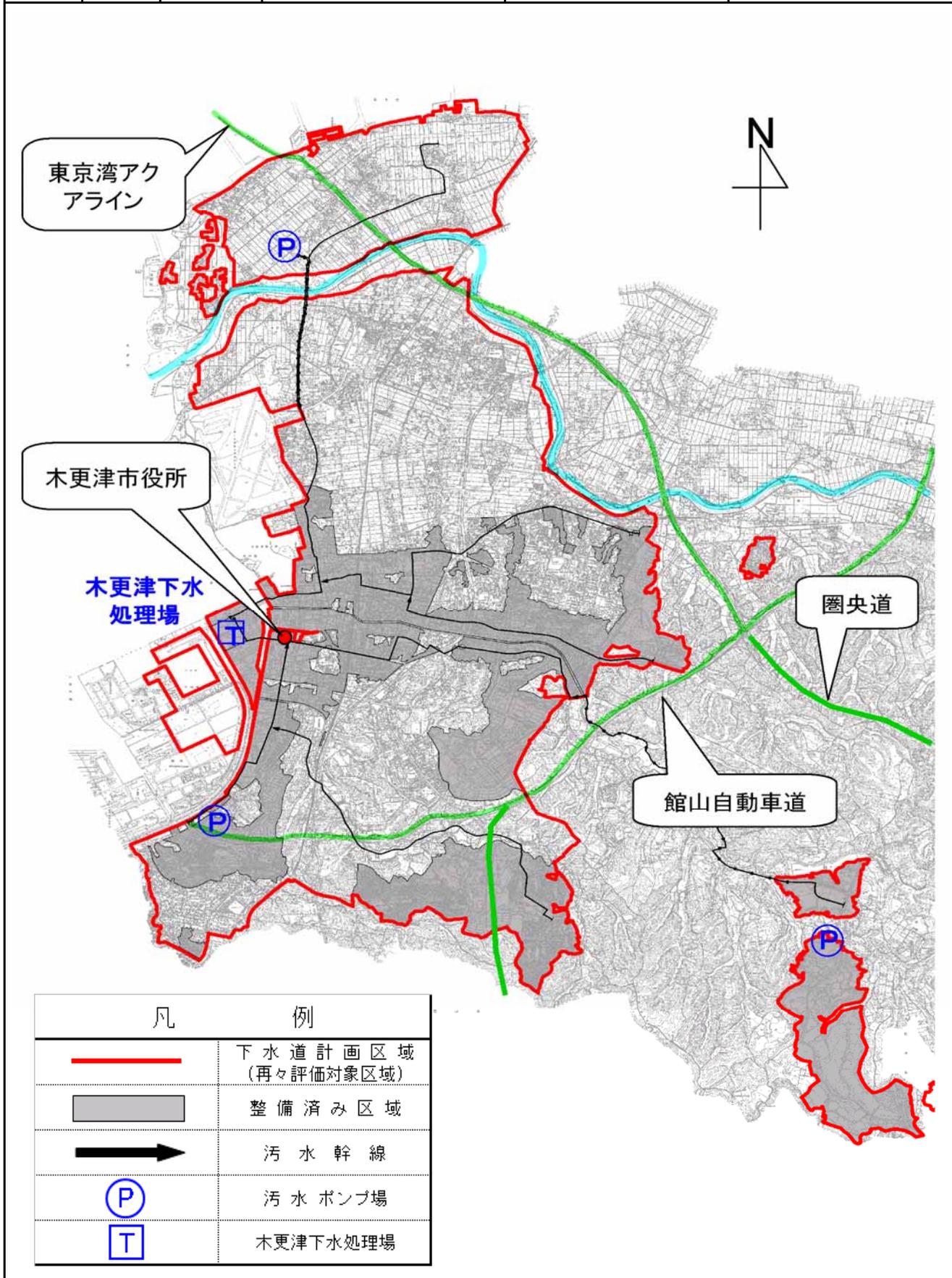
指 標	状 況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤砕石等再生資材の利用、最上流マンホールの小型化によりコスト縮減に努めている。
代替案	当市の市街化の状況から、代替としての浄化槽整備よりも、下水道整備が適している。

【対応方針(案)】

木更津市公共下水道事業は順調に進展しており、今後も順調な進展が見込まれることから、当事業を継続していく方針です。

事業概要図

番号	12	事業名	木更津市公共下水道事業	路線又は箇所名等	木更津処理区
----	----	-----	-------------	----------	--------



【別紙様式5】

再々評価事業に関する調書

番号	12	事業名	木更津市公共下水道事業	路線又は箇所名等	木更津処理区	
事業化年度	昭和48年	用地着手年度	昭和52年	工事着手年度	昭和48年	
【再評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成10年	供用開始 年度	昭和59年	対応方針	継続	
B / C		総費用		総便益		
再評価時の委員会の意見及び当時の状況 事業の継続が妥当とのご意見をいただいた。						
再評価時の進捗状況						
	計 画		進捗状況			
全体事業費	2,079億円		396億円			
用地取得面積	12.81ha		12.37ha			
供用面積(延長)	5,633ha		984ha			
【再々評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成20年	供用開始 年度	昭和59年	対応方針	継続	
B / C	1.3 (1.7)	総費用	2,109億円 (1,586億円)	総便益	2,672 億円	
現在の進捗状況						
	計 画		進捗状況			
全体事業費	1,901億円		551億円			
用地取得面積	12.69ha		12.37ha			
供用面積(延長)	5,485ha		1,638ha			
再評価後の 経過及び 処理状況	再評価時から現在に至るまで、概ね順調に事業が進展している。					

【別紙様式3】

再 評 価 実 施 事 業 調 書

番 号	12	事業名	木更津市公共下水道事業		路線又は箇所名等		中央第1排水区他		
事業所管課		千葉県県土整備部下水道課			事業主体		木更津市		
事業化年度	昭和48年	用地着手年度	-		工事着手年度	昭和48年	再評価の理由	再評価実施後一定期間を経過したため	
					工事終了年度	平成36年			
費用便益比 B/C	1.5~3.2	総費用	476 億円	総便益	1,091 億円	基準年	平成20年	供用開始 年 度	昭和59年

【事業概要】

項目	全体計画(目標年次:H29)	事業計画(完成予定年次:H23)	現況(H20)
排水区域面積	743ha	478ha	54ha
処理人口	-	-	-
木更津下水処理場の処理能力	-	-	-
事業費	432億円	375億円	103億円

【事業の進捗状況】

指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度までの整備面積は、事業計画478haに対して、54haを整備し、整備率が11%である。
処理場用地の取得状況	-
処理施設の供用状況	-
供用開始区域の接続状況	-
地元情勢等	木更津市議会の理解及び地元住民の協力は得られている。

【社会経済情勢等】

指 標	状 況
社会経済情勢	金田地区土地区画整理事業の事業化や圏央道の一部供用開始がされているものの、既に計画に見込んでいるため、下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特でない。
自然環境条件	-
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。

【コスト縮減・代替案】

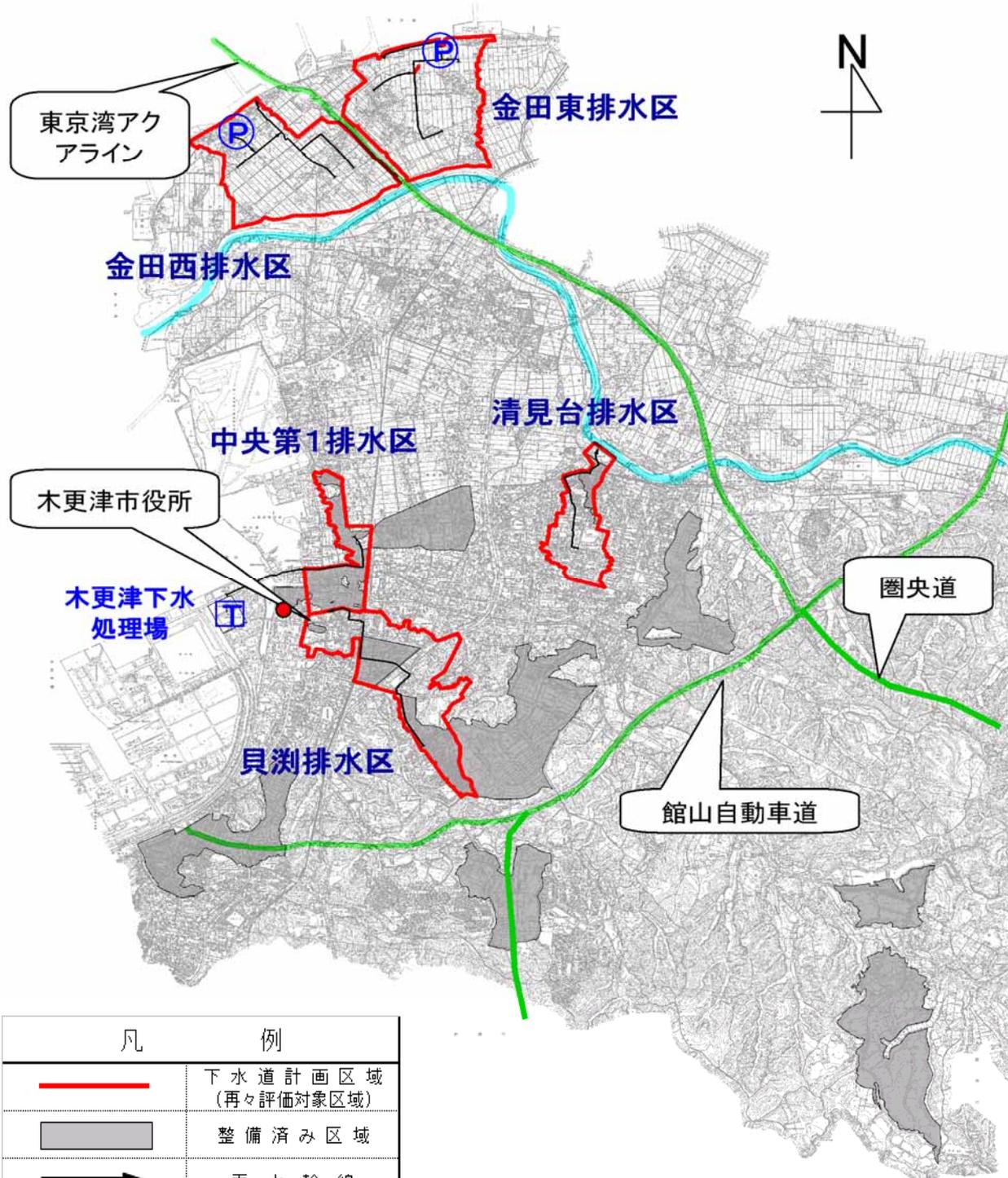
指 標	状 況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤砕石等再生資材の利用によりコスト縮減に努めている。
代替案	-

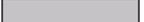
【対応方針(案)】

木更津市公共下水道事業は今後、順調な進展が見込まれることから、当事業を継続していく方針です。

事業概要図

番号	12	事業名	木更津市公共下水道事業	路線又は箇所名等	中央第1排水区他
----	----	-----	-------------	----------	----------



凡	例
	下水道計画区域 (再々評価対象区域)
	整備済み区域
	雨水幹線
	雨水ポンプ場
	木更津下水処理場

【別紙様式5】

再々評価事業に関する調書

番号	12	事業名	木更津市公共下水道事業	路線又は箇所名等	中央第1排水区他	
事業化年度	昭和48年	用地着手年度	-	工事着手年度	昭和48年	
【再評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成10年	供用開始 年 度	昭和59年	対応方針	継 続	
B / C		総費用		総便益		
再評価時の委員会の意見及び当時の状況 事業の継続が妥当とのご意見をいただいた。						
再評価時の進捗状況						
	計 画		進捗状況			
全体事業費	428億円		81億円			
用地取得面積	1.23ha		-			
供用面積(延長)	743ha		52ha			
【再々評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成20年	供用開始 年 度	昭和59年	対応方針	継 続	
B / C	1.5～3.2	総費用	476 億円	総便益	1,091 億円	
現在の進捗状況						
	計 画		進捗状況			
全体事業費	432億円		103億円			
用地取得面積	1.23ha		-			
供用面積(延長)	743ha		54ha			
再評価後の 経過及び 処理状況	汚水を先行して整備してきましたが、今後、土地区画整理事業等に合わせ雨水整備を図りたい。					